

1. 動物

No.	意見の概要	事業者の見解
1	<p>■P880「コウモリ類の出現回数の多い風速 3m/s 以下では、(中略)フェーザー位置に固定し、バットストライクを可能な限り低減する計画とする」とある。フェーザーリングを行うことは評価される。</p> <p>しかし、「コウモリ類の出現回数の多い風速 3m/s 以下」とあるが、P881～P882 をみると、30kHz 以下の音声を発する種について、Bd2 は 4.0～4.9m/s (夏季)が多い。</p> <p>また、30～50kHz の音声を発する種については、Bd1 は風速 3.0～3.9m/s (春季)、Bd2 は 4.0～4.9m/s (夏季)が多い。</p> <p>以上の結果から、「コウモリ類の出現回数の多いのは、風速 5m/s 以下」ではないのか？</p> <p>保全措置は安全側にとるべきである。「コウモリ類の出現回数の多い風速 5m/s 以下では、(中略)フェーザー位置に固定し」としないのか、根拠を述べること。また、春季から秋季については、日没後から日の出までのカットイン風速を 5m/s 以上に設定すること。</p>	<p>Bd.2 では、渡りを行う秋季も含め確認回数が多く、有識者ヒアリングによれば、Bd.2 付近は時期を問わず移動経路となっている可能性が高いことから、バットストライクが生じる可能性があるとして予測しており、事業計画上の配慮として Bd.2 付近には風力発電機の設置を避ける計画としています。</p> <p>Bd.1 では、風速 3m/s 以下での確認回数が多く、有識者ヒアリングによれば、風が弱いときの方がブレードにコウモリ類が当たっているという事例もあるため、バットストライクが生じる可能性があるとして予測しており、事業計画上の配慮として、コウモリ類の出現回数の多い風速 3m/s 以下では、風車は、羽根を風とほぼ平行にするフェーザー位置に固定し、バットストライクを可能な限り低減する計画としています。</p> <p>なお、現時点では予測に足る既存の科学的知見や類似事例が極めて少なく、定量的な予測は困難、かつ不確実性を伴うことから、飛翔状況や死骸探索による事後調査を実施し、事後調査の結果により著しい影響が生じると判断された場合には、専門家の指導や助言を得て、更なる効果的な環境保全措置を検討し講じることとしています。</p>

2. その他（環境の保全の見地以外からの意見）

No.	意見の概要	事業者の見解
1	<p>■意見は要約しないこと</p> <p>意見書の内容は、貴社側の判断で要約しないこと。要約することで貴社の作為が入る恐れがある。</p> <p>事業者見解には、意見書を全文公開すること。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>頂いたご意見は、要約せずに全文を記載しております。</p>